



国土交通省水管理・国土保全局三上砂防部長へ要請しました。

令和 4 年 3 月 29 日 (火) 13 時 30 分、国土交通省水管理・国土保全局砂防部長室において当協会会長 原 裕から三上幸三部長に対し、事前防災対策の推進、協会活動への支援・協力要請、グランドアンカー工等斜面防災対策工の維持管理の推進等の要請を行いました。三上部長からは各項目に対しご回答を頂き、現場実態を適切に反映した斜面对策工事の設計・積算の実施や斜面防災対策工の長寿命化に向けた維持管理の推進等について、今後とも砂防部としても力を入れて対応していきたいと力強いお言葉を頂きました。特に、協会が昨年要望した横ボーリング工の孔内洗浄工の歩掛改定に向けた国土交通省の合理化調査については、令和 4 年度に実施することが決定したこと、都道府県が行う公共土木施設のメンテナンスに対して国からの補助制度が創設されたことなどのご説明がありました (下記※印参照)。

なお、砂防部長室には伊藤仁志保全課長も同席いただきました。



要望書を手渡す原会長(左)と三上部長(国土交通省水管理・国土保全局砂防部長室にて)

※インフラメンテナンス事業の創設 (個別補助事業)

河川・ダム・砂防・海岸分野において、建設後 50 年以上経過する施設の割合が増加していくことを踏まえ、インフラ長寿命化計画に基づき、個別施設計画の見直しや定期点検等により確認された更新が必要な施設への対策等、インフラ老朽化対策を計画的・集中的に実施するため、各分野において「インフラメンテナンス事業」を創設 (国土交通省水管理・国土保全局ホームページより)。



斜面防災対策技術への取り組みに関する要望書

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策が盛り込まれた令和4年度予算が成立いたしました。(一社)斜面防災対策技術協会としても、砂防事業をご支援ご協力申し上げますとともに以下の活動を推進したいと考えております。その中には砂防行政機関のご支援なくしては成果を期待し難いものもあり、発注者のご支援を要望させていただきます。

1. 事前防災対策の推進

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の中で、「いのちと暮らしを守る土砂災害対策の推進「流域治水」に基づいた事前防災対策」の推進を強く要望いたします。

2. ライフサイクルコスト削減検討のための研究会の推進

「予防保全型維持管理への転換に向けた老朽化対策」では、最適な老朽化対策の前提としてライフサイクルコスト削減方法の確立が重要です。協会として地すべり対策におけるライフサイクルコストに係るデータを収集・取り纏めし、縮減方法案を提案したいと考え、令和3年度に砂防部はじめ関係機関のご協力を得て研究会を設置いたしました。

研究会では斜面对策工(とりわけ集水井、集水ボーリング工など)の経過年数と健全度のグラフ化などから、ライフサイクルコストが縮減できる、適切な更新時期、更新方法などの検討を進めており、令和4年末を目標に結論を得たいと考えております。データの収集、分析などには砂防関係行政部局の引き続きのご協力が必要です。今後ともご協力を賜りますようお願いいたします。

3. 「砂防関係事業におけるDXの推進」のための事例集の発刊

インフラDX(デジタルトランスフォーメーション)に関する事例集の作成を進めております。事例集の作成では、作成後の斜面防災対策分野への普及も含めて砂防関係行政部局の協力が必要と考えます。令和4年度の早いうちに発刊したいと考えており、今後ともご協力を賜りますようお願いいたします。

4. 現場実態を適切に反映した斜面防災対策工事の設計・積算の実施

集水井工や集排水ボーリング工の機能回復に必要な孔内洗浄工について現場実態を適切に反映できるよう合理化調査を要望いたします。

5. グラウンドアンカー工等斜面对策工の維持管理の推進

斜面对策工の劣化状況の把握と適切な時期・工法による補修、機能強化が重要です。特にグラウンドアンカーで斜面安定化を実施している地域のアンカーには二重防錆が施されていない、旧タイプで施工されている斜面については、鋼材の腐食によって本来の抑止機能を果たしていない場合があります。グラウンドアンカーの調査・点検・補修、いわゆる「維持管理」を早急を実施することを要望いたします。

令和4年3月29日

一般社団法人斜面防災対策技術協会
会長 原

